

「教育・子育て」について

P1

受付月	題名	内容	回答要約	担当部
5月	「お弁当の日」について	八幡市の小中学校で「お弁当の日」を実践していただきたい。「お弁当の日」は、平成13年に香川県の小学校ではじめられた食育活動である。今では、全国で約1,200校に広がっている。「お弁当の日」の具体的な取り組み。①献立作成、買出し、料理、後片付けまで全てを子ども達自身で行う。②親は一切、手も口も出さない。③お互い弁当を見せ合い、ほめたりコメントして刺激し高め合う。「お弁当の日」は、弁当を作ることが目標ではなく、その過程を通じ、子どものやる気や自尊心を育て、健やかな未来の環境づくりのために必要なことである。是非、未来ある子ども達のために、実施していただきたい。	本市におきましても、食育の取り組みとして、八幡市が発祥の地である「松花堂弁当」の歴史について学んだ後、児童が献立作成し、買出しに行き、料理を行っている学校や、自分に必要な栄養量を考えながら料理を選択する「栄養バイキング」を実施している学校があります。また、市内全小中学校では、給食を自分で弁当箱に詰める「お弁当給食」や、班で1つの鍋を囲み、目の前で炊きながら食べる「鍋給食」など様々な取り組みを実施しております。 ご提案いただきました「お弁当の日」の取り組みにつきましては、すばらしい食育活動であると感じておりますが、指導体制や事前授業カリキュラムの作成等課題もありますことから、今後検討してまいりたいと考えております。	教育部
7月	幼稚園、小学校にクーラー設置について	今年の猛暑は厳しく、小学生の子ども達は毎日のぼせたような真っ赤な顔で帰宅している。授業中も暑くて集中できないとのこと。 枚方市や長岡京市、京都市はクーラーがあるため、夏休みも少ないと聞いている。そこで心配なのは、学力的にも差がでてくるのではないかと。 子ども達の学業のためクーラー設置を検討願います。	小・中学校への空調設備の整備につきましては、学力向上の観点から、中学校については、平成22年度に全4中学校で空調設備の整備を完了しており、合わせて夏休みを7日間短縮したところでございます。小学校につきましても整備を進めるため、今年度に設計業務を行っております。子ども達が快適な環境で学習できるように、平成26年度以降の出来るだけ早い時期に、整備していきたいと考えております。	教育部
8月	夜間休日の小児救急について	小児科の夜間休日時の救急医療について、八幡市でも受入れ医療機関の充実をはかっていただきたい。	小児救急病院につきましては、子どもを持つ保護者にとって、大変ご心配なことと認識しております。前回、ご要望いただきました際にも回答させていただきましており、京都府に対して、要望を続けている状況です。 現在、山城北医療圏(八幡市、京田辺市、綴喜郡、宇治市、城陽市、久世郡)においては、京都府が指定した宇治徳州会病院、田辺中央病院で休日・夜間を含めて小児救急患者の対応を行っています。本市での小児救急病院の設置につきましては、京都府からは、市内の3つの病院については、医師不足の現在、特に小児科医師については確保が難しく、小児救急病院の要件を満たす病院が現時点では無いと言われております。市としては、小児救急病院の設置に向けて、今後も引き続き京都府に働きかけを行ってまいりたいと考えています。	健康部
8月	小児検診について	欽明台地域は、子どもの検診の為に市役所まで出向くの不便である。もちろん必要なことなので市役所まで行くが、自家用車がない限り、バスを乗り継いで行かなくてはならず、そのバスも本数が無く困っている。検診が開催される日に一本だけでもいいので、送迎のバスを出してほしい。 また、資料を直接窓口へ持参しなければならぬのも同様に不便であり、これは問い合わせの上郵送で済ませているが、知らない方もいるので、「郵送可能」と一言添えてほしい。	欽明台方面から市役所へのバス路線につきましては、ご指摘のとおり、欽明台地域に居住されている市民の皆様にとって不便なことと認識しております。このため平成20年から翌年6月まで試行的にバスを運行しましたが、結果的には利用客が少なく定期運行には至りませんでした。 また、各種がん健診等の申込につきましては、ご案内のとおり広報「やわた」にて、市役所の窓口(健康推進課)もしくはハガキで申込をしていただけることを掲載しており、乳幼児の健診や予防接種については、市役所から個別に案内の通知を送付させていただいております。ご不明な点などがありましたら、個別にお問い合わせをいただくこととしており、予防接種については電話での受付も実施しております。 今後とも、市民の皆様への周知につきましては、広報を含め工夫してまいりますのでご理解をお願いします。 なお、欽明台地域における子どもの増加に対応し、子育て支援を充実するため同地域に子育て支援センターを開設する準備を進めています。このセンターにて乳幼児相談等を行うことも検討している所です。	健康部

「教育・子育て」について

P2

受付月	題名	内容	回答要約	担当部
12月	男山図書館について	<p>受付カウンターの後ろに壁を隔てて事務所があるが、声をかけるのに静かな環境が必要な図書館において、それなりに大きな声を出さざるを得ない場合がある。</p> <p>壁を一部窓ガラスにして、事務所内部全体が見える様にしていたら、職員も利用者も共に存在が分かると思うので、検討願う。</p>	<p>男山市民図書館カウンターでの不具合につきましては、誠に申し訳ありませんでした。お心遣いの前に職員の適切な対応ができていたべきでありました。直ちに男山市民図書館はもとより八幡市民図書館でのカウンター体制を見直し、ご利用の皆様にご不便のないよう指示したところであります。なお、受付カウンターと事務室の間にあります壁につきましては、表裏ともに壁面書架を設置しております。このことから窓等への改修は困難であります。前述いたしましたように、職員が常にカウンター対応への配慮を怠らないことで、今後ご不便をおかけすることを防ぐことができると存じます。ご了承ください。</p>	教育部